

「人の感動に、貪欲。」をコンセプトに、さまざまな企業のイベントプロデュースを行う Backbone 社のプロジェクトの裏側をお伝えする「BAKCBONEDetails」。第一回目の今回は、HR 事業を軸に展開する H 社の高橋さんと矢口さんをお迎えし、2023年3月に実施された運動会の反響を振り返っていただきました。

L 矢口大輔 コーポレートデザイン室 人材戦略グループ R 高橋陸史 ITプロバートナイズ事業部



事業部間の壁をなくす コミュニケーションの場として

運動会を実施されたいと思われたきっかけからお話いただけますか？

矢口 最初にアイデアを出したのは弊社の人事担当でした。過去に実施した経験があったのが大きいようですが、組織のコンサルティングや人事の経験を通して、会社でイベントをやることの意義を感じていたようです。同時に、弊社は昨年から新卒採用に力を入れていて、スタッフがかかり増えたタイミングでもありました。

高橋 スタッフの人数が100名から130名ぐらいに伸びたフェーズだということもあり、事業部ごとに壁ができてつづつあるのを感じていました。みんな業務に対して真面目なので横のつながりもなく、会社としての統一感を出すためにも、活発なコミュニケーションが生まれる場が必要だったんです。

最初の打ち合わせから「本気でやりたい」とおっしゃっていらっしゃいましたね。

高橋 そうですね。何でも熱心した方が楽しいので、本気でみんなが楽しめるような企画を一緒に考えさせていたのだと思います。

隔週で打ち合わせを実施させていた

きましたが、弊社が担当する分の内容の整理と、なにをいつまでに用意するべきなのかをスケジューリングいただき、スピーディーに進めていただいた印象です。Backbone社さんは実績が豊富なので、過去に盛り上がった競技の事例をたくさんお聞かせいただき、こちらがやりたいアイデアを具体化するためのサポートをしていただきました。



「選手」「応援」のバランスを考えた、盛り上がるための コミュニケーション設計

運動会を実施されるとアナウンスされた際、御社内の反応はいかがでしたか？

矢口 実際のところ、みんなが最初からポジティブだったわけではないかなと思いますね。

高橋 「：運動会うはあ」という反応のメンバーもいましたね。どんな感じなんだろうって、みんな最初は腰が重くて。でも、蓋開けてみたらみんな楽しそうで（笑）、当日はかなり盛り上がりたと思います。

活発なコミュニケーションを生むことが今回の目的だったので、本番当日の進め方も含めて、御社に合わせた設計をさせていただきました。印象的だった競技は何でしたか？

高橋 綱引きはめっちゃ楽しかったです。僕のチームが一位だったからというのがありますが（笑）。

Backbone社さんからの提案で、綱引きを当日発表のシークレット競技にした上で、出場するメンバーをお昼休みの中に決めてもらったことも、盛り上がりへの準備としてよかったです。チームで話し合うプロセスが設計されていたことで自然とコミュニケーションの時間が生まれましたし、決勝まで出場メンバーを重複してはいけないうーナメント制としてのルールもあったので、メンバーで戦略を練る楽しさがありました。

競技の前に本気でコミュニケーションを取る時間をプログラムとして設計することで、より一層の盛り上がり



れる工夫をさせていただきました。選手として出場される方々がヒートアップされるのももちろんなんですが、当日の盛り上がりは「応援」によって生み出されるもので、「選手」「応援」がバランスよく盛り上がるための提案をさせていただきました。

高橋 事後アンケートでは、リレーについて書いている人が多かったです。最終走者がゴールテープを切るのがほぼ同時で、すごい盛り上がりでしたね。

H社様が、事前に内定者を含む全社員の方々の運動の得意／不得意を把握された上でチームを構成されていたからこそ、これだけ拮抗したリレーになったのではないかと思います。弊社からも、世代をまたいだチーム構成を提案させていただいていたので、結果的にこれだけドラマチックな展開を生むことができたのだと感じています。

高橋 仕事とはまた違う、みんなが本気になっている姿を見られたのが印象的でした。チームは事業部を跨いだメンバーで構成していましたが、これからも関係が続くような新たなつながりが生まれていたと思います。会社には有効だなと実感しました。

Backbone社さんは運動会を実施してきた数が多いので、手慣れているからこそその安定感がありましたし、当日はスタッフの方々のオペレーションがと

ても細かく、不自由なく進行いただいている安心感がありました。

次につながる コミュニケーションの創発

その後の反響はいかがですか？

高橋 アンケートでは「事業部や年齢の異なるメンバーとの一体化が生まれて良かった」「みんなでひとつのことに本気で取り組んだことで絆が深まりました」などの声があり、好評でしたね。

終了後はチームごとで打ち上げをしたんですが、さっそく「今度このチームでバーベキューに行こう！」みたいな話が生まれ、次につながった感覚があります。内定者にも参加してもらったので、入社前にお互いを理解できる機会にもなりました。

矢口 ポジティブな結果しかなかったので、やってよかったんじゃないかなと思いますね。やる前は微妙な反応だったメンバーからも、「実際にやってみたらよかった」という声がたくさんありました。

弊社のオフィスはワンフロアなんですけど、違う事業部のデスクにも行きやすくなった雰囲気がありますし、以前より垣根を越えたコミュニケーションが生まれやすい土壌ができたのを感じています。これからのなにかとイベント

は実施していくので、次の盛り上がりにつながるんじゃないかなと。二回目もぜひやりたいというのはほぼ社内です決まっているので、また来年もお願いできればと思っています。

御社のプロジェクト推進メンバーは自主的に集まれた方々でしたし、前段階から盛り上がるための施策を実施されていたのが、こちらとしても刺激的でした。当日までにみなさんがチーム内で仲を深められていたのが、今回の満足感につながったのではないかと思います。

高橋 一回目が本当にいい会だったので、それを超えていけるような二回目、三回目を一緒につくっていったらなと思います。来年以降もよろしくお願ひします！

